

2016年3月期第1四半期 決算説明会 Q&A

【1Q業績について】

Q 1Q業績が比較的好調な理由は？

A 業種ではダウンストリーム、地域では中東や国内が堅調に推移し、MROを中心に運用・保守サービス関連の受注を取れていることが主な要因。

Q 粗利率悪化 17 億円の理由

A 3か月比較では、海外で前年同期と比べて粗利率の低いジョブを売上げたことが主な要因。対年間予想では想定内である。

Q 国内で好調な業種は？

A 公共事業（上下水道）の受注が堅調である。民間の受注も一部業種を除き前年を上回る結果となった。

Q 中東で堅調に業績を伸ばしている理由は？

A 現地大学と協働しての技術系人財の育成や、女性エンジニアの育成等、ここ数十年かけて行ってきた現地での活動、「現地化」によりお客様との関係を構築してきたことなどが成果に結びついていると考えている。

【年間業績予想について】

Q 2Q以降の業績見通しについて

A 足元の状況に変化なし。今回発表した業績予想は、前提となる為替レートの変更による影響のみを織り込んでいる。

Q 為替感応度の年間予想を下げたのはなぜか？

A 当社の業績には、ドルだけでなく複数の通貨の動きが影響している。ドルは円安傾向に推移すると予想するが、ブラジルレアル等は円高に推移すると予想され、また、2Q以降1Qレート実績と比べほとんどの通貨で円高に見ていることなどから、年間の為替感応度を3億円/1円に変更した。

Q 年間40億円の戦略投資費用は使い切るのか？

A 仕組み作りは進めているが、1Q実績では金額的にはまだ大きくない。基本的には将来の成長のための費用であり、執行する予定である。

(注)本内容は、回答時点であり、現状は変わる可能性があります